

秋の里まつり

R2. 10. 29(木)

里だより

No.347

令和2年12月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



施設内でささやかに開催させていただきました



行事予定・
ありがとうございました・・・7

行事報告・・・・・・・・・・・5

職員より・医務より・
サービス向上委員会より4

主任より・・・・・・・・・・・3

サビ管より・・・・・・・・・・・2

施設長より・・・・・・・・・・・1
(ページ)

十二月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

「障害ってなに？」



いよいよ冬將軍の到来です。今年は新型コロナウイルスに加え、インフルエンザも猛威を振りそうな気配です。インフルエンザの予防接種はお済みでしょうか。つくしの里では、在宅からの利用者さんも含め、全利用者・職員を対象にインフルエンザの予防接種を十一月九日に済ませたところです。

まずはインフルエンザの予防から。また、新型コロナウイルス対策として、県のリスクレベルの基準変更に伴い、施設独自の感染防止基準も二転三転と変更を余儀なくされ、利用者様、並びにご家族の皆様には度重なる変更等、大変なご不便とご不自由をお掛けしております。引き続き、更なる感染防止のための施設整備を進めておりますので、今しばらくご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

さて、コロナ禍ではありますが、今年も大津北小学校から児童のみなさんへ「障害」についてお話しをする機会をいただきました。大変ありがたいことです。

大津北小学校の児童さんとは、年六回ほど施設利用者さんとの交流を深めています。交流の大きな目的は、障害そのものの理解や、障害のある人が生きていくこと、暮らしていくことの難しさなどを伝える事です。

障害について、世間の方にはまだまだ十分に理解・共感されているとは言えず、また、障害に対する理解は、大人になって急に

生まれるわけでもありません。小さな頃から障害を理解し、人への思いやりを育む生活環境が必要なことから、児童のみなさんには障害のある人(相手)を知ってもらうことから始めています。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、施設利用者さんとの交流は控えさせていただきましたが、先般、小学校に赴き、三・四年生を対象に障害についての講話をさせていただきました。

講話では、「障害ってなに？」から話します。

始めに、児童さんたちに「得意なこと何？」と聞き、次に「苦手なこと何？」「頑張っていることは？」と尋ねます。そして、みんなとは苦手な種類が違うこと。また、どんなに頑張っても出来ないことを障害ということや、脳のどこかに目に見えない小さな傷があると、身体が動かなかったり、計算ができなかつたりすることなどを伝えます。そして、どんなに重たい障害を持っても「心はみんなと同じ」だと話します。

次に、「つくしの里ができるまで」の経緯を話します。障害を持つ子供の親達が「親なき後の理想の施設作り」を目指して立ち上がり、幾多の困難を乗り越えて、今の「つくしの里」があること。中でも、施設建設のための土地探しでは、地元の猛烈な反対運動にあい、障害者への理解のなさに無念の涙を流し、六ヶ所目にたどり着いたのがこの平川の地であり、施設建設に理解を示してくださった平川地区の方々への感謝の気持ちと、地域の方々に支えられて、今の「つくしの里」があることを話します。

そして、「つくしの里の役割り」・「施設の名前の由来」・「障害を持つ子どもの親の苦悩」などを話し、最後に、人は一人では生きていけない。支えられて、支え合って、助け合って生きているこ

と。障害があることで、生活の中で困っていることが沢山あることを伝え、少し工夫して手伝ってほしいこと、見守ってほしいことなどを話します。

児童のみなさんは真剣に聞いてくれますし、質問も沢山してくれました。そして後日、児童さん一人ひとりから感想文を寄せていただきます。これが私の楽しみでもあります。毎年のことながら、小学生(特に低学年)に少しでも解ってもらえるお話しが出来たか悩むばかりです。

ひととはできることと できないことがある

できることをうらやむより

できないことをなげくより

できることを精一杯

できることに感謝して

最後に、今年も残すところ一カ月。利用者さんにとっては年末の大きな楽しみであるクリスマス会・もちつき大会が控えています。コロナ禍で、それぞれの担当職員も利用者さんに喜んでいただける最大限の計画を立てて準備を進めてくれています。

ご家族・後見人並びに関係各位には、今年一年お世話になり有り難うございました。時節柄、ご多忙のことと存じます。くれぐれもお身体にはご自愛いただき、良い年末年始をお過ごしください。来年もどうぞ宜しくお願いいたします。

施設長 小川 眞司

サビ管より

門松づくりに向けて

朝晩の冷え込みも一段と厳しくなり、冬の訪れを肌で感じる季節になりました。今年は例年と比べ、寒さが厳しくなるようです。今年の行事もクリスマス会・もちつき大会を残すのみとなりました。今年は新型コロナウイルスの影響で、規模を縮小した行事がほとんどです。クリスマス会やもちつき大会も同じように規模を縮小しながらも、利用者の方が楽しんで頂けるよう、担当者が一丸となって計画に乗り出しています。

いつもの行事とは違う中、どういう内容であれば楽しく行えるか、又、満足していただけるか、利用者の方にも確認しながら進めています。行事の良し悪しは担当者によって左右される部分も多いと思います。企画や出し物など、しっかりとした方向性を担当者が持つていなければ、ただ単に毎年行われている行事にしかありません。何か一つでもオリジナリティーのあるアイデアを出してくれることを期待して、今年最後の二つの行事を利用者の方と一緒に楽しみたいと思います。

年末と言えば、もう一つ恒例行事があります。

職員手作りの「門松」のお目見えの時期です。竹の伐採から切り分け・組み立て・飾りつけまで全てが手作業です。大変そうと感じる方もいらっしゃると思いますが、手作り出来る機会があることに感謝しています。物がありふれているこのご時世ですから、購入すれば早く済んで簡単ですが、製作者の想いや気持ちを感



ていただけることが本来の奥ゆかしさだと思います。

門松は、歳神様の依り代(よりしろ)であつたと言われています。今年は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。新しい年を迎えるにあたり、邪気を払い、歳神様を快く迎え入れるために、気持ちを込めて門松を作成し、日本古来の趣をつくしの里の利用者・職員に感じてもらえればと思います。

十二月二十七日までには完成予定ですので、ご来園の際には、正面玄関に飾つてある門松に目を向けて頂ければと思います。また、趣を感じていただければ、門松づくりに携わった職員の励みになると思いますので、ぜひご覧ください。

年末を迎えるにあたり、今年を象徴する漢字一字や流行語大賞が発表される時期です。何となく想像がつきそうですが…。

ちなみに、私自身の今年を象徴する漢字一字は既に決まっています。新型コロナによる生活様式やそれに係る様々な変化から「変」と決めました。

皆さんは今年を漢字一字で表すと何になりますか？考えてみるのも面白いかもしれませんね。



支援係長 竹下 幸樹

主任より

最近思う事



気が付いたらもう十二月。今年も終わろうとしています。

四〇代になると、月日が経つのが更に早く感じます。我が子も日々すくすくと成長し、時にはやり込められる事もありますが、「この野郎」と思いながらも、その成長を嬉しく感じています。その反面、父親の白髪交じりの髪や母親の小さくなった姿に寂しさを感じるようになりました。最近では、母親の「大丈夫ね：困つたらんね？」の電話に対し、感謝しつつも「もうね自分達が親を心配する歳になったとよ」と返しています。

私の年代は働き盛りと言われますが、これからもずっとそうありたいと思います。子ども達にはいつまでも子どもでいて欲しいし、両親にはいつまでも元気でいて欲しい、利用者の皆さんにはいつまでも元気で楽しく過ごして頂きたいと思っています。

今年はコロナの影響で全国的な自粛がありました。また、熊本県内では豪雨災害もあり、現在も復興作業が続いています。とても大変な一年になりましたが、自粛中でも何か出来る事はないかと探す前向きな姿勢と、復興作業で手を取りあう人々の姿、現地に赴くボランティアの方々への繋がりの強さを感じました。月日が経つ事を嘆くより、日々一生懸命に生きる事の大切さに「ああ自分も頑張らないとな」と改めて振り返る一年になりました。これからも一日一日を大切にしたいと思います。

主任支援員 山中 真史

職員より

私が所属している生活介護班 3 班の今年度の外出は、当初ハイキングや温泉に出掛ける計画を立てていました。しかし皆さんもご存じの通り、新型コロナウイルスの影響で外出が困難な状況です。毎日、日清さんが準備してくださる美味しいご飯ですが、施設から出て、利用者さんと美味しいご飯を食べに行きたいですね。3 班の利用者さんは「お弁当」「お菓子」「ジュース」のワードを出すと、嬉しい表情をしてくださいますので、職員としても準備し甲斐があります。職員一同、利用者さんに何かできないかを考え、お弁当やテイクアウト出来る商品を準備してお楽しみ会を行っています。先月の里だよりでもご紹介しましたが、高級焼き肉店のお弁当も食べましたよ。ちなみに 12 月は、モスバーガーを食べる予定です。きっと利用者さんも楽しみに待っていてくれると思います。食事会を楽しみながら、コロナや寒さに負けない様、利用者さんと共に運動に励みたいと思います。

(支援員 甲斐)

利用者の N さんは、よくイベントや行事の話をされ、「〇〇が良い」「〇〇は？」とアイディアをたくさん出して下さいます。私はアイディアを出す事が苦手なので、助けられる事が多いです。生活介護班 4 班では、畑作業や空き缶整理などを行っていますが、利用者さんの方が詳しくてテキパキと動かれています。他にも、様々なことで利用者さんに支えられながら、今の自分がいるのだなと改めて感じています。私も利用者さんに負けず劣らず頑張りたいと思います。

(支援員 森)

医務より

嘱託医として協力して頂いている熊本セントラル病院様が 10 月より移転・建て替えられ、新病院になりました。今までと勝手が違うためか、利用者さんから「靴のままいいと？」「どっちに行けばいいね？」と戸惑う声も聞かれましたが、「きれいになったね」「いいね」と皆さん嬉しそうです。受診は利用者さんの楽しみの一つだと思います。診察では、急に大人しくなり話さなくなる方、自分の体調を次から次に話す方、得意な絵を描いて先生へ渡す方と様々です。もちろん、体調面のことは職員よりしっかり申し送りをされています。顔見知りの看護師さんから声をかけられ、笑顔で世間話をされる方もいます。外出が制限され外部との交流が少ない今、病院での受診が外出とは味気ないですが、コロナ禍生活でのちょっとした気分転換・息抜き場になっていればと思います。

(看護師 松村)

サービス向上委員会より

■ 生活環境【主任支援員 松若・支援員 上村・川上・松尾】

私たちは主に入浴・睡眠・排泄の担当として、利用者さんが普段の生活で困っている事はないか、又、快適に過ごしていただく為にどのような取り組みが必要かを話し合っています。上半期では、寝具が季節に応じているか、寝具に必要な物は揃っているかを確認したり、お風呂では、入浴剤の日を決めて利用者さんに楽しい時間を過ごしていただけるよう取り組みました。排泄面では、トイレを快適に使用していただく為に、掃除のチェックを行いました。下半期も更に工夫を凝らし、より良い生活が出来るよう取り組みます。

行事報告

※ 10/21 (水) ~ 11/20 (金) の実施分について報告いたします

★ 秋の里まつり【10月29日 (木) つくしの里】

今年は新型コロナウイルス感染症対策の一環で、例年のような地域の皆様や関係者、ご家族の皆様をお招きしての開催は見合わせ、施設内で感染防止対策に重点をおいて実施いたしました。規模は縮小しましたが、利用者さんには祭りの雰囲気存分に味わって頂けるよう、グループ毎にカラオケ大会・露店巡りとプログラムを振り分けました。

露店では、人数を制限して会場に順次お連れし、「3密」に配慮した新しい生活様式で、輪投げ・射的・金魚すくい・ヨーヨー釣りなどを楽しみました。

食バザーでは、事前のアンケートで利用者さんから要望が多かった焼きそば・カレーライス・フライドポテト・ぜんざい・ジュース・ドーナツ(プリン)を準備しました。

恒例の抽選会では、初めての試みとして、支援局で施設長に抽選を行って頂き、館内放送を使って実況中継を行いました。各企業様から協賛いただいた豪華な景品や、担当職員が選び抜いた景品が当選するたびに、各会場は大きく盛り上がっていました。抽選終了後に施設長・副施設長が贈呈に回られると「ヤッター！」と大きな声を出し、満面の笑みで景品を取りに来られる利用者さんが多数いらっしゃいました。

今回はやむを得ず規模を縮小させていただきましたが、祭りを実施出来たことを嬉しく思います。協賛いただいた企業様、保護者会の皆様には大変お世話になりました。来年は関係者及び地域の方をお招き出来るようコロナの終息を願っています。(支援員 後藤)

★ 生活介護班⑤班食事会【11月5日 (木) つくしの里】

平成 25 年度より毎年一泊旅行をしています。今年は新型コロナウイルス感染防止の為、中止せざるを得なく、代わりにこれまでの一泊旅行を振り返る会を行いました。会場はこれまでの旅行の写真で装飾し、食事は中華の弁当と、作業でお世話になっている香梅様のケーキ、風雅様のお菓子を食べながら、思い出の写真をスライドショーにした振り返り動画を鑑賞しました。7年分の思い出は簡単には収まらず、その時間なんと 30 分！動画には以前 5 班に所属していた職員もメッセージ出演し、会を盛り上げてくれました。利用者の皆さんはどの旅行も覚えていてくださり、当時の思い出を語って下さいました。過去の写真は利用者の皆さんの素敵な笑顔で溢れていました。来年こそは一泊旅行で皆さんと楽しい思い出を作りたいと思います。(支援員 三木)



★ 利用者健診・インフルエンザ予防接種【11月9日（月）つくしの里】

血圧・検尿・診察の健診と、インフルエンザ予防接種が終了しました。少し遅めの予防接種になってしまったため、利用者さんの体調が心配でしたが、全員受けることができて一安心です。あとは日常の感染予防対策を徹底して、今冬を乗り切りたいと思います。

（看護師 松村）

★ 生活介護班②班食事会【11月17日（火）つくしの里】

外出が出来ない今、利用者の皆さんと何か楽しい事は出来ないかと「第2回おたのしみ食事会」を開催しました。今回は「仕出し割烹しげよし」様にステーキ弁当・豚丼・天むす弁当等々を配達していただきました。

「美味しか〜」との感想があちらこちらで聞かれ、あっという間に完食してしまう方も。「まだ食べたい!」と話された皆さんの満足気な表情が印象的でした。

また、食事会の終盤には、職員による出し物を行いました。2班は芸達者な職員が多く、おばさま方に人気の漫談家「綾小路〇〇〇〇」から、今や俳句を詠むばかりの「梅沢〇〇〇」、ラストは今は亡き「〇〇〇ひばり」のモノマネ懐メロメドレーで盛り上がりました。笑いが絶えずとても楽しい時間になりました。

コロナ禍でなかなか外出も思うようにできませんが、利用者さんが楽しめるような行事を今後も計画していきたいと思います。

（支援員 尾崎ア）



施設 PR 委員会 今月の1枚！



今年はコロナ禍で外出の機会が少ない状況です。

これまでの鬱憤を吹き飛ばすように、ブドウ狩りを楽しんでいるHさんの写真を選びました。

今月から活動や外出などでの一コマを紹介させていただきますので、お楽しみに！！

行事予定



☆ 忘年会（つくしの里）

期 日：12月3日（木）

内 容：今年の思い出を語り合いながら、楽しい忘年会にしたいと思います。

☆ 生活介護班④班外出（ドラゴンキッチン光の森店・恋のしずく光の森店）

期 日：12月7日（月）・8日（火）

内 容：贅沢な美味しいランチを食べに行きたいと思います。

☆ ハートフル作品展示会（熊本県立美術館分館）

期 日：12月22日（火）～26日（土）

内 容：今年も利用者さんの素敵な作品が並びます。ぜひご覧ください。

☆ クリスマス会（つくしの里）

期 日：12月24日（木）

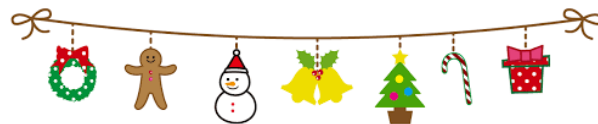
内 容：今年も様々な出し物で盛り上げます！お楽しみに～♪



☆ もちつき大会（つくしの里）

期 日：12月28日（月）

内 容：健康や安全面などを第一に考え、規模を縮小して施設内でささやかに開催したいと思います。ご了承ください。



ありがとうございます

今月の掲載分は、

令和二年十月二十一日～

令和二年十一月二十日です

【ショートステイ】

日中一時支援事業のご利用

（八名 延べ 五十六日）

【寄付・寄贈】

・ 今坂 桂子 様	・ 岩根 亨 様
・ 岩根 治美 様	・ 江頭 勝 様
・ 大畠 照雄 様	・ 緒方 寿隆 様
・ 米田 政輝 様	・ 後藤 弘子 様
・ 古川 信子 様	・ 前原 透 様
・ 宮崎 絹枝 様	・ 山口 静美 様
・ 山本 清隆 様	・ 吉田 暢夫 様
・ 古庄 政敏 様	・ 平田 靖人 様
・ 松永 一博 様	・ 村上 舞 様
・ 日清医療食品(株) 様	・ エコア 様

【ボランティア】

・ 村里 和洋 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。

